

公文書館通信

Vol.12 (令和3年2月発行)

右の資料は戦後から昭和20年代後半に八頭地方事務所で作成された農地開発(開拓)関係の簿冊に綴られていた人事課から昭和28年頃に発刊された『監督者の手引』です。

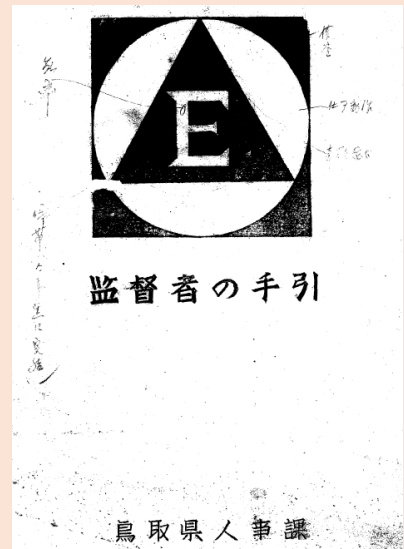
目次を見てみると、

- 第1章 仕事の管理
- 第2章 仕事の改善
- 第3章 部下の教育訓練
- 第4章 部下の扱い方

とあり今でも違和感がない内容です。

近年は少子高齢化による生産年齢人口の減少やデジタル技術の進歩に起因して「カイゼン」が求められています。人口・景気ともに右肩上がりのため「改善」の必要性が感じられない当時に意識の醸成が図られていたことには驚きます。

「第2章 仕事の改善」を少しご紹介すると、



鳥取県人事課

<鳥取県立公文書館所蔵>

- ◆改善の目標・・・仕事を早く、正しく、職員を楽にして、事務に要する経費を安くすること
- ◆監督者の役割・・・部下へ改善の意識を持たせ、改善案を提案し易い雰囲気づくりを行うこと
- ◆改善のヒント・・・仕事の手順や割当方を変更することで繁閑が調節できないかなど
- ◆改善の順序・・・分析(現状記録・分析)⇒検討(自問・着想記録※)⇒立案(改善案を資料へまとめる)⇒実施(同僚等の同意を得たうえで実施) ※着想=アイデア

「改善」の心構えや進め方は、今の「カイゼン」にも通じる部分があると思いませんか？

ご存じでしたか？ (八頭) 地方事務所とは・・・

明治11(1878)年に制定された郡区町村編制法で府県の下に「郡」が置かれ、国の機関として郡役所が作られました。地方事務所は郡役所(大正15年に廃止)を前身としており、戦時下の昭和17(1942)年の内務省告示によって国から府県の機関へ位置づけられました。戦後、地方自治法の施行により地方事務所などは都道府県が条例によって設置、廃止できるようになりました。

ここにヒトツのマルがあります。
同じものでも見る人によってこんなにも違った見方があるものです。

幼 児..... 凡せん	課 長..... 淡紙の印刷
小 学 生..... 悪い虫矣	くまものや..... リンゴ
理 髪 師..... はげ頭	高 利 貸..... おカネ
タイピスト..... タイプのキー	洋 販 屋..... ボタン
守 衛..... バツゲ	阿 貫 一..... 今日今夜の月
給 仕..... 茶わん	写 真 屋..... カメラのレンズ
酒 の み..... サカザキ	野 球 送 手..... ボール

『監督者の手引』32頁

「第4章 部下の扱い方」では、人によってモノの見え方が異なることを例に部下の積極性を引き出すための監督者の心構えが書かれています。

モノの見え方が千差万別なように、個性も人それぞれ異なることを監督者は認め、個性を活かすことが土台になると書かれています。

監督者に限らず、相手を認める姿勢は大切にしたいですね。

約70年前の資料ですが今見ても遜色がない内容だと思いませんか？他にも目からウロコの内容が書かれていますのでご興味ありましたら別添の資料原文をご覧ください！【裏面へ続く】

知事部局本庁分の簿冊を受け入れました

令和3年1月20日(水) 快晴

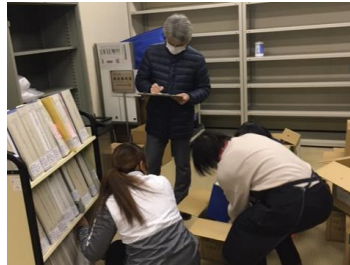
今年度、知事部局本庁から引き継ぐことが決定した簿冊533件(606冊)の受け入れを行いました。政策法務課書庫から公文書館に到着後、番号順に1冊ずつチェックをして、丁寧に書棚に並べていきます。分冊された簿冊の一部が無いなどありましたが(後日無事にみつかりました)、スムーズに受け入れが完了しました。

今後は簿冊の状態に応じて簡易な修復を行ったり、排架情報を整理し県民の利用に備えます。



公用車到着

県庁-公文書館を5往復。
文書箱で約100箱でした。



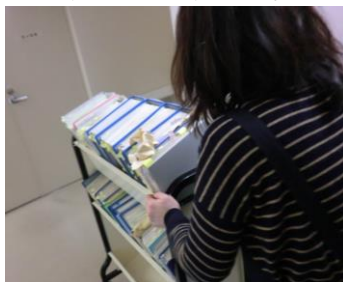
チェック

引継リストと1冊ずつ照合。
分冊がある場合は要注意です!



運搬準備

引継番号順にブックトラックに
並べていきます。



運搬

地下2階から地下1階の書庫へ
移動。



排架

チェックをしながら保存期間別
に書棚に並べていきます。



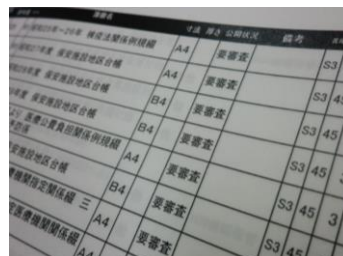
シール貼り

R2年度受入の印をつけるため
全てにシールを貼ります。



ラベル貼り

書棚にR2年度のラベルを貼ります。
す。



目録作成

1冊ずつ書庫情報(簿冊情報を補完する
書庫・棚番号)を入れて目録作成。



ひとまず完成!

今後、簡易な修復をして県民の
利用に備えます。

今年度に引き継がれた簿冊の一例

『平成元年 西日本リニア鉄道建設促進協議会関係』

中央リニア鉄道に次いで西日本にもリニア鉄道を誘致するため、本県も参加した協議会です。簿冊には、設立総会や担当者会議の資料、当時の新聞記事、パンフレットが綴られています。

『^{ひろどめ}広留野地域におけるエコロード検討委員会綴り(第1回~3回)』

八東町(現八頭町)・若桜町^{ひろどめ}の広留野地域でレッドデータブックの希少動植物が確認されたため、エコロード検討委員会が設置され、自然の生態系と共存できる道路づくりが検討されました。簿冊には、動植物調査結果や航空写真・現地地図、委員会のテープ起こしなどが綴られています。

簿冊が職員の皆さんの手元を離れて公文書館にやってくるのは、何年も後になります。良い状態で公文書館に引継ぎするためには、皆さんの手元にある時の管理が大切です。

日頃から書類を詰め込みすぎない、事務処理に必要としない資料やクリップ等の金属類は外す(文書が傷むため)など、簿冊の状態を良好かつスリムになるよう気を配っていただくと嬉しいです。